



2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3765 URL <https://www.gungho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650
 定時株主総会開催予定日 2022年3月30日 配当支払開始予定日 2022年3月14日
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月30日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	104,626	5.8	32,802	8.8	33,629	11.3	22,883	39.8
2020年12月期	98,844	△2.5	30,157	6.4	30,202	5.5	16,369	△9.8

(注) 包括利益 2021年12月期 25,776百万円 (39.0%) 2020年12月期 18,541百万円 (△4.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	341.44	339.35	22.4	26.2	31.4
2020年12月期	239.94	238.70	18.0	26.6	30.5

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	134,930	118,672	79.6	1,681.71
2020年12月期	122,257	104,727	78.9	1,422.35

(参考) 自己資本 2021年12月期 107,360百万円 2020年12月期 96,522百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	23,653	△5,414	△12,393	102,086
2020年12月期	24,214	△6,472	△4,710	95,979

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	2,035	12.5	2.3
2021年12月期	—	0.00	—	60.00	60.00	3,830	17.6	3.9
2022年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 2020年12月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭
 2. 2021年12月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 30円00銭
 3. 2022年12月期の配当額は未定であります。

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年12月期	91,199,116株	2020年12月期	95,210,316株
2021年12月期	27,358,682株	2020年12月期	27,349,132株
2021年12月期	67,021,695株	2020年12月期	68,222,141株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	66,642	6.4	23,258	0.6	23,764	2.4	18,529	44.6
2020年12月期	62,643	△7.7	23,117	△4.3	23,197	△4.4	12,816	△21.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	276.47	274.78
2020年12月期	187.86	186.89

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年12月期	107,091	99,005	99,005	91.5	91.5	1,534.56	1,534.56	
2020年12月期	100,150	92,480	92,480	91.4	91.4	1,348.22	1,348.22	

(参考) 自己資本 2021年12月期 97,966百万円 2020年12月期 91,492百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。
- ・2022年2月14日（月）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(修正再表示)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

2020年の日本におけるゲーム市場は、家庭用ゲームソフトの好調な販売とモバイルゲーム市場の拡大により、前年比16.5%増加の2兆188億円*となりました。2020年の世界におけるゲームコンテンツ市場も、モバイルゲーム市場が引き続き成長したことに加え、家庭用ゲーム市場やPCオンラインゲーム市場も拡大し、前年比31.6%増加の20兆6,417億円*となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き経済活動に停滞が見られる中、一部では持ち直しの動きも見られるようになってまいりましたが、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社では引き続き「新規価値の創造」に向けグローバル配信を見据えたゲーム開発に注力すると共に、「既存価値の最大化」を図るため各ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大やゲームブランドの強化に取り組んできた結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、対前年度比で増収増益となりました。

既存ゲームにつきまして、「パズル&ドラゴンズ」（以下「パズドラ」）は引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョン等の追加やゲーム内容の改善、他社有名キャラクターとのコラボレーションなど、継続的にアップデート及びイベントを実施し、MAUは引き続き堅調に推移いたしました。「パズドラ」は、2021年10月からパズドラ大感謝祭を実施した他、2022年2月20日にサービス開始から10周年を迎えたことから、10周年を記念したイベントを実施しており、アクティブユーザーの活性化に取り組んでおります。Nintendo Switch™向け対戦ニンジャガムアクションゲーム「ニンジャラ」は、コラボレーションイベントやオンライン大会の実施、新マップや新武器の実装、幅広いクロスメディア展開の実施、グッズの販売等、ユーザー層の拡大に引き続き取り組んでおり、2022年1月8日からはテレビアニメ「ニンジャラ」の放送を開始いたしました。

新規ゲームにつきまして、2021年6月28日に日本でサービスを開始したスマートフォン向けMMORPG「ラグナロクオリジン」は、引き続きアップデート及びイベントの開催を行ったことで、アクティブユーザー数は安定推移し、業績に寄与いたしました。

子会社の事業につきまして、Gravity Co., Ltd. 及びその連結子会社が配信しているRagnarok関連タイトルは継続的なアップデート及びイベントの開催により、MAUは引き続き堅調に推移しております。また、2021年6月18日に東南アジアでサービスを開始したスマートフォン向けMMORPG「Ragnarok X: Next Generation」は、引き続き好調な売上を記録しております。2021年11月10日には、北米でスマートフォン向けMMORPG「Ragnarok Origin」のサービスを開始いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は104,626百万円（前連結会計年度比5.8%増）、営業利益32,802百万円（前連結会計年度比8.8%増）、経常利益33,629百万円（前連結会計年度比11.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益22,883百万円（前連結会計年度比39.8%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

※ ファミ通ゲーム白書2021

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における資産合計は、134,930百万円（前連結会計年度末比12,673百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、16,258百万円（前連結会計年度末比1,271百万円減少）となりました。これは主に、流動負債その他に含まれる前受金が減少したことによります。

純資産合計は、118,672百万円（前連結会計年度末比13,944百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」）は前連結会計年度に比べ6,106百万円増加し、当連結会計年度には102,086百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は23,653百万円となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益36,705百万円及び法人税等の支払額10,350百万円が含まれるためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用された資金は5,414百万円となりました。

これは主に定期預金の預入及び払戻による支出（純額）6,920百万円が含まれるためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用された資金は12,393百万円となりました。

これは主に自己株式の取得による支出（純額）10,062百万円及び配当金の支払額2,032百万円が含まれるためです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対応のため、当社グループでは各国の外出規制等の要請に従い、在宅勤務等の対策を実施していることから、新規タイトルの開発及び一部の既存タイトルの運営が平時と比較して滞ることや、各種イベントの中止等により広告宣伝施策への影響はあるものの、現時点では業績への影響は限定的であり、今後の動向を引き続き注視すると共に、情報収集と臨機応変な対応を継続して行って参ります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当面は日本基準を適用することとしております。

なお、国際会計基準の適用に関しましては今後の国内外の諸情勢を考慮し、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	102,725	115,008
売掛金	9,801	9,608
有価証券	—	1,455
商品	2	6
仕掛品	115	65
その他	1,532	1,433
貸倒引当金	△55	△67
流動資産合計	114,120	127,510
固定資産		
有形固定資産合計	810	1,211
無形固定資産		
ソフトウェア	257	191
ソフトウェア仮勘定	961	—
その他	165	198
無形固定資産合計	1,384	390
投資その他の資産		
投資有価証券	55	62
繰延税金資産	2,876	2,557
その他	3,010	3,198
投資その他の資産合計	5,941	5,818
固定資産合計	8,136	7,420
資産合計	122,257	134,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,797	3,156
1年内返済予定の長期借入金	198	193
未払法人税等	4,973	5,542
賞与引当金	9	11
その他	7,221	5,989
流動負債合計	16,200	14,893
固定負債		
長期借入金	416	315
退職給付に係る負債	—	3
その他	913	1,045
固定負債合計	1,330	1,364
負債合計	17,530	16,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,487	5,487
利益剰余金	173,321	181,675
自己株式	△87,646	△85,172
株主資本合計	96,500	107,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	21	31
その他の包括利益累計額合計	21	31
新株予約権	988	1,039
非支配株主持分	7,216	10,272
純資産合計	104,727	118,672
負債純資産合計	122,257	134,930

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	98,844	104,626
売上原価	43,490	43,566
売上総利益	55,354	61,059
販売費及び一般管理費	25,196	28,256
営業利益	30,157	32,802
営業外収益		
受取利息	100	135
為替差益	—	606
助成金収入	256	108
その他	73	14
営業外収益合計	430	864
営業外費用		
支払利息	22	14
自己株式取得費用	7	13
為替差損	338	—
その他	16	10
営業外費用合計	385	37
経常利益	30,202	33,629
特別利益		
投資有価証券清算益	—	16
関係会社株式売却益	—	3,191
特別利益合計	—	3,207
特別損失		
減損損失	3,338	131
投資有価証券評価損	14	—
特別損失合計	3,352	131
税金等調整前当期純利益	26,849	36,705
法人税、住民税及び事業税	8,901	10,926
法人税等調整額	△225	325
法人税等合計	8,676	11,251
当期純利益	18,173	25,454
非支配株主に帰属する当期純利益	1,804	2,570
親会社株主に帰属する当期純利益	16,369	22,883

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	18,173	25,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	368	322
その他の包括利益合計	368	322
包括利益	18,541	25,776
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	16,673	22,893
非支配株主に係る包括利益	1,868	2,882

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,338	5,487	159,046	△84,678	85,194
当期変動額					
剰余金の配当			△2,090		△2,090
親会社株主に帰属する 当期純利益			16,369		16,369
連結子会社株式の取得 による持分の増減					—
新株予約権の行使		△3		24	21
自己株式の取得				△2,995	△2,995
自己株式の処分		△0		2	1
自己株式の消却					—
利益剰余金から資本剰余金 への振替		4	△4		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	14,274	△2,968	11,306
当期末残高	5,338	5,487	173,321	△87,646	96,500

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	—	△282	△282	862	4,991	90,765
当期変動額						
剰余金の配当						△2,090
親会社株主に帰属する 当期純利益						16,369
連結子会社株式の取得 による持分の増減						—
新株予約権の行使						21
自己株式の取得						△2,995
自己株式の処分						1
自己株式の消却						—
利益剰余金から資本剰余金 への振替						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	304	304	126	2,224	2,655
当期変動額合計	—	304	304	126	2,224	13,961
当期末残高	—	21	21	988	7,216	104,727

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,338	5,487	173,321	△87,646	96,500
当期変動額					
剰余金の配当			△2,035		△2,035
親会社株主に帰属する 当期純利益			22,883		22,883
連結子会社株式の取得 による持分の増減		△0			△0
新株予約権の行使		△5		49	43
自己株式の取得				△10,063	△10,063
自己株式の処分		△0		0	0
自己株式の消却		△12,487		12,487	—
利益剰余金から資本剰余金 への振替		12,493	△12,493		—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△0	8,354	2,474	10,828
当期末残高	5,338	5,487	181,675	△85,172	107,329

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	—	21	21	988	7,216	104,727
当期変動額						
剰余金の配当						△2,035
親会社株主に帰属する 当期純利益						22,883
連結子会社株式の取得 による持分の増減						△0
新株予約権の行使						43
自己株式の取得						△10,063
自己株式の処分						0
自己株式の消却						—
利益剰余金から資本剰余金 への振替						—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	0	9	9	50	3,056	3,116
当期変動額合計	0	9	9	50	3,056	13,944
当期末残高	0	31	31	1,039	10,272	118,672

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	26,849	36,705
減価償却費	1,950	671
長期前払費用償却額	640	248
株式報酬費用	147	94
減損損失	3,338	131
投資有価証券評価損益 (△は益)	14	—
投資有価証券清算損益 (△は益)	—	△16
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△3,191
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	37	10
受取利息及び受取配当金	△100	△135
支払利息	22	14
為替差損益 (△は益)	241	△468
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,879	312
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△70	44
仕入債務の増減額 (△は減少)	445	△694
未払又は未収消費税等の増減額	117	△44
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	14	297
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,558	△355
その他	△110	295
小計	32,216	33,919
利息及び配当金の受取額	103	99
利息の支払額	△22	△14
法人税等の支払額	△8,082	△10,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,214	23,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,387	△19,434
定期預金の払戻による収入	6,265	12,514
有価証券の純増減額 (△は増加)	271	△480
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,639	△676
投資有価証券の取得による支出	—	△1
投資有価証券の清算による収入	—	16
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	2,448
短期貸付金の回収による収入	—	700
長期前払費用の取得による支出	△961	△353
敷金及び保証金の差入による支出	△29	△201
敷金及び保証金の回収による収入	8	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,472	△5,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	701	100
長期借入金の返済による支出	△360	△206
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,993	△10,062
配当金の支払額	△2,085	△2,032
非支配株主からの払込みによる収入	293	167
その他	△266	△359
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,710	△12,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	166	261
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,197	6,106
現金及び現金同等物の期首残高	82,782	95,979
現金及び現金同等物の期末残高	95,979	102,086

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響に関して、同感染症の今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。現時点において、将来キャッシュ・フロー及び将来の事業環境等の予測にあたって同感染症は、一定の影響を及ぼすものの、限定的であると判断しております。

しかしながら、今後の状況の変化によっては、翌連結会計年度以降の連結財務諸表に影響を与える可能性があるため、今後も注視して参ります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他の地域	合計
59,632	33,788	3,734	1,688	98,844

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他の地域	合計
101	610	98	—	810

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他の地域	合計
63,544	35,914	3,699	1,466	104,626

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他の地域	合計
161	897	152	—	1,211

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額 (円)	1,422.35	1,681.71
1株当たり当期純利益 (円)	239.94	341.44
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 (円)	238.70	339.35

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	104,727	118,672
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	8,205	11,311
(うち新株予約権 (百万円))	(988)	(1,039)
(うち非支配株主持分 (百万円))	(7,216)	(10,272)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	96,522	107,360
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (株)	67,861,184	63,840,434

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	16,369	22,883
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	16,369	22,883
普通株式の期中平均株式数 (株)	68,222,141	67,021,695
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数 (株)	353,562	412,879
(うち新株予約権 (株))	(353,562)	(412,879)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概 要	—	—

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2022年2月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について次のとおり決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の遂行及び資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図るため

(2) 自己株式の取得に係る事項の内容

①取得する株式の種類	当社普通株式
②取得する株式の総数	2,600,000株(上限)
③株式の取得価格の総額	5,000,000,000円(上限)
④取得期間	2022年2月15日～2022年3月24日
⑤取得方法	市場買付